

関係各位

東京バスにおける外国人運転士採用につきまして

東京バス株式会社

2025年12月23日(火)、東京バスは特定技能1号外国人運転士が乗務する乗合バスの運行を、東京・沖縄エリアにて開始しました。

バス業界全体で抱える運転士不足の解消となるべく、昨年から「自動車運送業分野」の職種についても特定技能1号が追加されました。その制度を活用し今年7月にフィリピンから9人の候補生が入国し、免許取得や社内研修を重ねてきました。私たちにとっても初めての取り組みではありましたが、もともと日本で在住経験があり、必要とされるJLPT N3の要件以上のコミュニケーション能力は満たしている者たちでしたので、免許取得や社内での教育もスムーズにすすみました。この乗務開始はあくまでも通過点で、安全安心がわたしたちにとって最重要ですので、乗客の皆さまにご不安を与えることのないよう、しばらくは日本人運転士とともに乗務し、今後1人での乗務ができるよう見極めを慎重におこなっていきます。待遇改善等を行い引き続き国内での乗務員確保につとめるとともに、特に若い人たちにも入ってきていただけるようなバス業界にしていきたいと考えています。

皆さまのご理解、何卒よろしくお願い致します。

【これまでの経緯】

2024年2月 マニラを訪問し最大15名程度の招へい依頼（現地にてN3保有者に向けて募集）

2025年2月 バス特定技能試験(マニラ)

3月 候補者10名に向けて会社説明会ならびに面接(マニラ)全員内定

3月～ 現地にて右ハンドルバスを用いて運転技能講習(パダダ分校)

4月 特定活動ビザ申請(10名) ⇒6月9名分許可※ ※残り1名は来年来日予定です。

7月 運転士候補生9名入国、外免切替、自動車教習所にて大型二種免許合宿

8月 運転免許センターにおいて大型二種免許取得

9月 自社において初任研修開始(運転実技、座学、サービス)

10月 法令で定められた研修を修了し特定技能1号ビザ切替申請 ⇒12月22日許可

9名のうち5名が東京、4名は沖縄に配属し、さらに運転実技研修や実際の乗合バスに便乗し研修を重ねてきました。

2025年12月23日、東京地区、沖縄地区において、乗合バス営業運行デビューしました。